



も「殺すのはかわいそうだ。」と思ったりお客  
さんの心ない言葉を思い出したり精神的に辛  
い気持ちを抱えながら食肉加工をしています  
それでも有害鳥獣の問題改善や地域おこしに  
貢献しようとして取り組んでいます。それにもか  
かわらず、誹謗中傷の言葉をなげられること  
で私以外の狩猟者、加工施設の人も苦しい立  
場に置かれていると思います。狩猟者の減少  
はこういった偏見があるからかもしれません  
そのため狩猟者を増加させるために多くの人  
に現在の有害鳥獣による問題を正しく理解し  
てもらおうことが必要だと思えます。そのため  
には奈良県内の小学校・中学校・高校や県内  
各地で役場を中心に狩猟者、被害にあった農  
家による体験談を通じた有害鳥獣による問題  
について伝えるリモートでの講義実施すれば  
良いと考えます。そうすることですら新型コロナ  
ウイルスの影響で外出が困難な人でも講義に  
参加でき多くの人に参加してもらえらることで  
しよう。それらが実現することであれば有

害鳥獣駆除のイメージが変わり正しい知識を  
もつ人たちが増えるでしょう。さらにこれか  
らの社会を背負う学生などの若い人の有害鳥  
獣についての理解が深まり若い世代の狩猟免  
許の取得者が増えると期待できます。さらに  
は命の危険があることを考慮し捕獲報奨金を  
上げることも狩猟者の増加につながるかと考  
えます。このように狩猟者減少問題は改善さ  
れ捕獲率は高まると考えられますが、捕獲後  
にも問題があります。それは駆除後の処理問  
題です。多くの有害鳥獣は駆除された後に山  
に埋められたり、放置されたり焼却処分とさ  
れ命を粗末に扱われていきます。そのなかでも  
埋めることなく山に廃棄することは悪臭問題  
にもつながるため考え直すべきです。そのよ  
うな問題解決のために捕獲後の処理の規則を  
強化すれば良いと考えます。例えば処理方法  
を写真で撮り提出するということや義務づけ  
ます。そうすることによって山にそのまま放棄され  
ることなく適切な処分がされることが増える

と考えています。さらには加工施設付近で捕獲すれば加工施設で処分をすること、義務づけることも必要だと考えます。それを実現することができれば駆除した動物を無駄なく有効活用することができ、肉体は食肉、ペットフードに加工でき、皮はバッグ、財布などの皮製品、角はアクセサリ類に加工が可能です。捨てられているものがこんな素敵なものでないと思いませんか。加工施設が増えれば有害鳥獣の加工品の量産をすることができ、奈良の特産物としてPRすることが可能になつてくると考えます。現実新型コロナウイルスの影響で観光が困難なためネットでの販売や奈良のPRをし奈良の認知をあげれば新型コロナウイルスが終息した時奈良への観光客増加が期待できると考えます。経済的に豊かになり奈良の活性化に貢献すること、周囲の有害鳥獣に対する関心も深まり全国の有害鳥獣による問題が将来改善されていくのではない

でしようか。奈良公園では神の使いと保護さ  
れているイメージがつき、かわいそうだから  
と奈良県の鹿の駆除を反対をする人が多いで  
しょう。しかしこの作文を読み鹿などの有害  
鳥獣による問題が実際にあるのだと目を背け  
ず奈良県全体の問題として一人一人が駆除や  
ジビエに対する偏見を改めてくれる人が増え  
ることを願っています。その意識の変化がで  
きて初めて奈良おこしが成りたつものだと考  
えます。以上の取り組みを実行し私は県中の  
人たちに認めてもらえるような奈良の特色を  
活かした地域創成を行うと同時に奈良が背負  
う問題を改善していきたいです。